



2017年4月2日

報道関係各位

2017年4月7日(改訂版:写真キャプション修正)

国内累計販売数900万個突破！大ヒット玩具による国際交流イベント
バイブレードバースト『日本一決定戦』
および『アジアチャンピオンシップ2017』
2017年4月2日(日) 池袋サンシャインシティにて開催！

約2500人が見守る中、初代日本チャンピオン&アジアチャンピオンが誕生！

株式会社タカラトミー

2017年4月2日(日)、現代版ベーゴマ玩具の全国大会『バイブレードバースト 日本一決定戦』および国際大会『バイブレードバースト アジアチャンピオンシップ2017』(主催: 株式会社タカラトミー)が開催されました。「バイブレードバースト」の初代日本チャンピオンは名古屋大会代表のマサン選手、初代アジアチャンピオンは台湾代表のDUNDUN選手にそれぞれ決定いたしました。

これらの大会は、国内累計販売が900万個を突破し、アジア各国でも支持の高い現代版ベーゴマ玩具「バイブレードバースト」(※)の日本チャンピオン・アジアチャンピオンをそれぞれ決定するものです。

バイブレードのメインユーザーである小学生のみが出場可能で、小学生同士の熱い対戦が繰り広げられました。

東京・池袋サンシャインシティ噴水広場(アルパ B1)他にて開催中の「春休み おはスタわくわくフェス in サンシャインシティ」内で実施されたもので、当日は、総勢約2500人が来場し、初代チャンピオン誕生の瞬間を見守りました。



アジアチャンピオンシップを勝ち抜いた3人。左からコウキ選手(2位・日本代表)・DUNDUN選手(1位・台湾代表)・マサン選手(3位・日本代表)

【日本一決定戦】

午前中に開催された『日本一決定戦』では、2017年1月から2月にかけて、全国4会場にて行われ、全会場合計で約12,000名からのエントリーがあった予選大会を勝ち上がったブレーダー計9名が「日本一」の座をかけてトーナメント方式で戦い、名古屋大会代表のマサシ選手が優勝いたしました。また、マサシ選手と準優勝の東京大会代表コウキ選手は、日本代表ブレーダーとして『アジアチャンピオンシップ2017』への出場権も獲得しました。

優勝：マサシ選手(名古屋大会代表) 準優勝：コウキ選手(東京大会代表)

日本チャンピオン マサシ選手のコメント

「優勝できてうれしい。ベイブレードは、勝ち負けがあることと、技術で勝負できるところが楽しい。次の目標は大型大会でまた優勝すること」

【アジアチャンピオンシップ】

続けて同日午後に開催された『アジアチャンピオンシップ2017』は、日本・韓国・香港・台湾の4つの国と地域が参加し、『日本一決定戦』の上位2名のブレーダーを含む、各代表ブレーダー2名ずつ(合計8名)が、「アジアナンバーワン」の座をかけて戦い、台湾代表のDUNDUN選手が優勝いたしました。参加した子どもたちは、それぞれ異なる言葉や文化を持ちながらも、「ベイブレード」という一つの“競技”を通じて、熱い情熱と創意工夫、フェアプレーの精神のもと、楽しく国際交流を図りました。

優勝：DUNDUN選手(台湾代表) 準優勝：コウキ選手(日本代表)

アジアチャンピオンDUNDUN選手のコメント

「優勝できてとてもうれしい。勝因は、素敵なコーチであるお父さんがいること。決勝で戦った日本代表のコウキ選手もとても強かったが、自分のほうが運が良かった。もう小学六年生で、(小学生限定の)大会はこれが最後となったが、やりきった。」

「ベイブレード」は日本の伝承玩具であるベーゴマを現代風にアレンジした対戦玩具です。デザイン性が高く、パーツを組み替えて改造することができ、専用の発射装置「ランチャー」で誰でも簡単に回せることを特徴とした「改造ができるバトル専用コマ」です。

現在展開中のシリーズの第3世代「ベイブレードバースト」は2015年7月の発売以来、日本国内にてすでに900万個以上を販売しています。これは、メインユーザーである日本の男子小学生の全員が、1人当たり平均2.6個所持しているという計算になります。

現在では、アジアや北米を中心に12の国と地域で展開しており、たくさんのお子たちを魅了しています。日本が誇る伝承玩具である“ベーゴマ”に、競技性やカスタム性を加えて現代風にアレンジし、さらにはコミックやテレビアニメと連動した“日本発のオリジナル玩具”として、今では海外のお子たちにも支持されています。シュート(発射)時の掛け声こそ国や地域によって様々ですが、ルールは各国共通で、そこには言葉が通じなくても、お子たちが心を通わせることができる“遊びの力”があります。

タカラトミーは、「ベイブレード」を、親子や友達同士、国境を越えた友情を育むグローバルコミュニケーション玩具として、今後も世界中に展開いたします。

(※) 「ベイブレードバースト」とは

現代版ベーゴマ玩具「ベイブレード」の第3世代にあたるシリーズで、2015年7月より発売。1999年に発売された初代シリーズ同様、お子たちが熱中するリアルなバトルの面白さはそのままに、新しく相手を破壊して勝つ「バーストギミック」や最新技術のNFCチップ、クラウドシステム等を導入し進化させました。さらに、2017年3月からは、新システム「神(ゴッド)レイヤーシステム」が導入され、さらに奥深いカスタマイズが楽しめるようになりました。2016年4月から放送されていたアニメシリーズも、2017年4月より『ベイブレードバースト 神(ゴッド)』へとリニューアルしています。

また、アジア(台湾・香港)での展開は日本と同じ2015年7月にスタートし、シリーズ歴代最速のタイミングでの海外進出を果たしました。アジア以外の地域では、2016年10月からカナダ、12月から米国での展開がそれぞれスタートしています。

■ 開催概要 ■

「ベイブレードバースト 日本一決定戦」

開催日時： 2017年4月2日(日) 11:10 ~ 12:50

開催場所： 池袋サンシャインシティ 噴水広場

主催： 株式会社タカラトミー

開催内容： 全国4会場で選出された9名の選手が、「ベイブレードバースト」の初代日本チャンピオンの座を賭けてトーナメント方式で戦いました。
また、上位2名は『アジアチャンピオンシップ』に出場する代表選手に任命されました。

「ベイブレードバースト アジアチャンピオンシップ2017」

開催日時： 2017年4月2日(日) 14:15 ~ 16:00

開催場所： 池袋サンシャインシティ 噴水広場

主催： 株式会社タカラトミー

開催内容： 日本・韓国・香港・台湾の4つの国と地域の代表各2名、計8名が「ベイブレードバースト」の初代アジアチャンピオンの座を賭けてトーナメント方式で戦いました。
韓国代表は2016年12月中旬の韓国大会、香港代表・台湾代表は2017年2月下旬の香港大会・台湾大会にてそれぞれ選出されました。

～その他開催コンテンツ～

①「無限ベイスタジアム～邪神ヴァルキリーを撃破せよ～」コーナー、②アニメオープニング歌手「小林竜之」さんライブ、③ベイブレードバーストスロット など

■ 大会写真 ■



両大会合わせて総勢2500人以上の観客が選手たちを見守った



バトルの様子を写す大型スクリーン



『日本一決定戦』決勝のシュート(発射)シーン



『日本一決定戦』表彰式



『アジアチャンピオンシップ2017』開会式



『アジアチャンピオンシップ2017』決勝戦のシュート（発射）シーン



DUNDUN選手の優勝が確定した瞬間。噴水の演出が会場を盛り上げた



『アジアチャンピオンシップ2017』表彰式



『アジアチャンピオンシップ2017』決勝戦後、互いの健闘を称え合う
台湾代表・DUNDUN選手（左）と日本代表・コウキ選手（右）

<報道各位から本件に関するお問い合わせ先>
 株式会社タカラトミー 広報課 TEL 03-5654-1280 FAX 03-5654-1380
 <読者から商品に関するお問い合わせ先>
 株式会社タカラトミーお客様相談室 TEL: 0570-04-1031(ナビダイヤル)